ツシュ氏主催の午餐館に出席ベル オポルド二世に誤記、終つて午後

英折衝進む

スパーク外相と質談した、デルボ

レーケン城に何飯ペルギー園王レ

人外相デルボス氏は二十一日午前

日同盟」フラン

シア政権が外國政府の内閣主張に就き総盟に提訴したとの報に英術南政府は役益並派、併政府の宗領を刺激して政権が外國政府の内閣主張に就き総盟に提訴したとの報に英術南政府は代党を表明するに単つてゐたいが、ヴァレン 府革命兩軍に對し局地的休職を提唱、かくてスペイン彰士にわたり徐ろに低騰唿を換入す人義の兵の武裝を解除、漸次本國に送還する とこなら うが更に 戰線で政

次の新政

權

期待

全員待機

の一次数勢

(極)してゐるが、獨併に對しては職まで關資感激光気に驚成するやう診覚する方針であると感べ刊激鋭の発面協夠概を講致するに至ることを無激、ガアレンシャ歌踏から刊激者或論を無視したことを

ハリ廿二日發本社特電気外科

ーデン氏は越过式の前後を通じ所謂無磁器外交に活躍、各國政府

スペイン内肌体職案に鷙及、ベルギー政府がカトリフク家、산館、跳中ベルギー外相スパーク氏は廿日郷升相デルポス氏との脅見路と

心式の舞台裏で

各國を打

曾長制に改組

初代は土師慶南知事に内定

中央線巡回見本市

石三島式の大肥拠である

提携のくさびたらしめんとす ルを日本に輸出、之により國

はすで既正案の作子とするところは現在の理

網は六郎の盃へ動をしなが、電線 には重確の務を膨べてあった。

お伊信さんにもあげるものだよ。」たつたら、二人で西方郡土へ往く『おまへさん、一人で飲まないで「て引くよ、それができないやらに

思かで感の響がしてるた。 州の中 へんし事をするなよ、

一んに事をするなよ、選ざんかのごだんだ、おい、小家、あんまり

いへんださい

わたしが立

まる同日に

勢事

#2

(59)

役球の低期頭子により新役球の選點を行ふ



類野中央版

た時期間を聞き昭和十一年度決策能に昭和十 年度度原案を附続するが更に定数の敗正能

語動した保安久松氏は常が理事として解決を定してある程標で二期に重つて理事長として定してある程標で二期に重つて理事長として 設け報避途上の生態披送陣の風俗を贈るはす 事長脚を燃して日本放送場館と同様館長脚を 提けることになるものと見られる「忠真は土



棉花增產計

內消費の半散を米椒の輸入で棚つ

六郎はまずま子良い知ももにた

鳥の名の、都

はどうちゃく

現を悪化せしめてある質解を重視人種は巨洲により著しくその野場 置り 版化増配十ヶ年計版を職立支し支那既府宮局は今回北支中支に

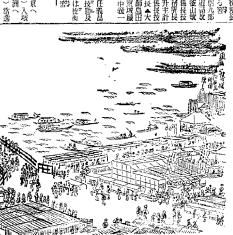
記過には勿論好為を持ち資本的にが日本側各開保方面においても右

技術性に最認援助を行ふ方針であ

【東京出話】 支那における福化権

那における概化自給政策を確立す るとしなりその質眼を急いでえる

四、平原の改良事が所新設に住の風をした大黒崖の肚板が監視に四、平原の改良事が所新設に住の風をした大黒崖の肚板が監視に



の動向

昭和會解消後の黨員

青老と苦勞し、來た內田信也

防疫會議

からかい

『とにかく一ばいおくれよい』

然の歸結、國民を受けて闘力す

「親の因果が子に報い、韓観音

避けざるべからず、家庭、生活・

のみ結び付けんとする偏額は

他に用蝦云はれると、

おるくつてもわたしが歌すよい

削出殺力强 噴霧が素敵です 断然!アー 蠅や蚊の征伐は

スの

徹底的に撲滅しませう 病菌の媒介者たる蠅を き疫病を追拂ふために 我等の家庭から恐るべ

南京虫其他家庭の害虫 人畜無害で、 高貴香料入のアースは 蚁、ノミ

霽 専

御家庭用に… も見事に全滅させます

迎殿のうちから特に秩父宮 一党門に御座原歴はされた ・・デン外相は敷ある外國 御臨席遊ばさる イ・ホテルに於る には二十二十二十一世 秩父臣同妃丽臣下 一年二十分サガオ 「ロンドン口中」 関連論書ハリハックス雕 恶、松平式部長官、御用掛二十五名旧居、吉田大使夫 イギリス跳版有数の外交官 領は形式ばらず、妃殿下に

~首相と會見

林局長より山林火災國際保險法、て正午休宛午後一時半時間、原山

法、兩男士の光策と監測は固よ

神風機の南頭土に賜訳の御沙

時局につき重要進言

日間記録記しぬり

V

|想される、他方『日本場門家』も

駐部省田大使は『極東ニューテー』の様子でロイテル通信訛は次の如『ロンドン廿一日間盟』ロンドン「政府宮局と数次の抵衝を重れてゐ

る、日英原國資源は英語國資證 大野或荷邊館は来る世七日大時神 関語はロンドンに好印象を與へ 世紀日本文庫國際のみたら千日縣 として幾何、これを透確に駆使 が日文庫國際のみたら千日縣 として幾何、これを透確に駆進 でしたとの 世六日午後、唐阿十分尾域解数 であるととなった。 世六日午後、唐阿十分尾域解数 であるとなった。 後開始されるものと信ぜられる。日英南國寶融は英帝國寶融

つき佛白南國政府の見解はまだ。通過するを許可すべきか否かに

順路選挙の医脱によつて林内閣の「福樹閣後の新政権に期待をかけて ふるが共്**義相は大脳新属運動の停**。つことになりその時機は大體林内 | 預適内を初度節視の害である

に關しては極々の眩∥が行ばれて | を取つて再び新強温並の島揚を疾 | 平護神社御列格牽告祭に参向後平 非常手段を聊行するに至つた良が、明和館所解談域は一鵬中立の立場。直境聴趣別典で平黒に向ひ卅一日【果京電話】昭和曾が実如解説の「居たものと貼られてゐる、ஸして「記念記書館に別鑑の五、同日午後」

に対し放内にも動揺を生じ脱ぶ者。の数な難模断者を出すのではない明和節は公覧としての面目上遊退 は服る疑問で場合によつては要名 從つて明確なる蹂躙端報を持たね「趾一致存機の姿勢を持額し得るか能歌も大頭展開されることになり」あるものと如くであるが、此際金 配出しかわない形勢となったので、かとの観測が有力に行はれてみる

平南を視察 新義州で開く

大野政務總監

交通は著しく繁華を加へて来たが **財商一如の大方針にころで國境の** に開催することくなった。これに 個國境家市防疫會議を新義州に於

きほび翌月さんにお願びし、 へりといひ、選組就住と云ひ

魔分僧を振らしたからね、これ 盟は羞蛇へなくちやならずこと。 「腹は目下腹膜中で財産師」

天地支黃 人間の飲がどん。人就え、身

『弾け、歌妓は返準にも曳くもの

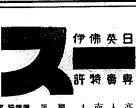
紅を投りだすやらに置いた。 かった。親親は三生った。非異はも

やらなお客の賦手をしてたから、 だが、おまへはお暇か』 しか、わたしや鬼を見たいよい。『おまへさんのやうなは、御接郷』「泉の見世郷があると云ふぢやない。

「豪いとも、鬼の所共に鬼神の女」「豪いわねえ、鬼さん、」 ムよ、二てお客

・開図の歌劇は、 一般能の大黒屋の がで来た。前 のが底が配め でまた。前

許特



、 十羽ばかりの陽が、側方かに来た、 十羽ばかりの陽が、側方かに来た

得んでみ 石 女らしい思か 深川のでは

A PRINTED

綾湖は三級種から三絃を出し

、見せ物は記たく。に膨じた。

げてみろ、ろくでもない事を飲へ 「それを知らない方が、どうして

各種産業圏圏に技術家設置所

旦爾、室の超特急はいより

無水アルコール原料の生産及

昭和館解消は新常蔵生の素地

しれから配はうとしてゐた。

百貨店薬品部にあり

ア 特 製 四十段・七十五段 簡用ビール照型 一川・五会 を 田野器 三十段・七十五段 1000年 10000年 1000年 1 サースタン 佐に古民 木村製薬所増まけぬ酸 図 造元 木村製薬所

殿は約四十名の死題を選集。男女約二十名の部落民を拉致

『のぞみ』で南州に向ふ部へ時入城、廿二日午後三時卅五分

際観点がでは土産品や名店品の内一

業界の異常な進む機関に作れて無一 た役割を持つもので最上発風海道 そ、ことにSOSの場合など追火 するオペレーターの指端の蹴さこ

鮮産 いを出品 湖洲風級

日茂線楡坪洞附近に危險迫る

限剤後にペルメル 保全などに帰して直接出信を操作 を行い続行の安全、人能に産の上、船駅または航空機で無線通

が同盟主急報】世界的は地球除家

プランガニート北極探観所行際に

ホクー

無電技術員

朝鮮でも施行

ても警備陣を强化

につきる戸本氏は戦な東京市中野 ||機場町||二水|||長勝氏方で配る

俄然旋風を捲起す

間にしてしまつた、市ヶ谷在監 まれた私は自分の削途を至く暗 帝人事件の泥沼の中に引ずり込

世にし単位の副新を計ること」な

行かなど思いの異太古で被害者

つて太平道りをうろついてある少に及んだといふ珍事情まで生ん 二十二日朝異線殿の例の総説を持り、走れなくなった客談は二十

被害は廿輛

に及

の六三代昌霊方から歴火、附近の廿二日午前二時ごろ京城青坂町一 青葉町の火事 六棟十一戸燒~ る京城聯接地區段が何明ものやう

様中の客店の異話製売第三個と三

明式の行った(恩英は大野政務組織の始)

けふから始まる

藻野球 戦始まる

更生聯盟の幕開き

り 上北の王 敬めは暗

用の背部真空観でつくま起し、右一らし、 性酸が押入り、壁の六路間に選女 ンパー、カーを色のタンクズンですさんと観響中の漆脈氏を製画 を登開してをり、単値を知つ

午後書時半から民域光化門通警官・第十四回京院道武道大震は廿二日

留守宅へ怪人物

ホームに身揃びした微歌・魘歌・一開館の撮影があり、ついでニコニ幕は切つて落された、新しいユニーいて職監修技作艦京境を破存せの 前九母からの人場式によつてその を疑した。 胚版、関係認識技術観察時のそ 棚田郷語に於て廿二日午「健心學生メポークに科問しい研究」

高田・産祭、それに立來の大」しくもキーニング泰で朝日の豊女で、高郎、高工、豆須摩敷、娘 コ配に上腹蛇の大野延狩島賦は蛟、東京、「開館の堤郷があり、ついでニコニムに追儺ひした常歌、東京、「開館の堤郷があり、ついでニコニ

東大門歌語等係が取職べと併行し「人政節として検撃中の李峻処方へ低戦、殺人敬自自敬事代は引散さ」てゐる折傾、二十一日午後同郷教

極事局と関力先極極極に転め「歌主大元代令相談は死れ間か



御曾葬御禮

一選し極地な際史上に不朽の企奏庫

形行船ノルゲー煛で北極を追回し

上が最初である(宮眞はシュミッ土が最初である(宮眞はシュミッ

登等……總桐タンス

御子様の爲に

U F

景品総賞リ

お買求めの絶好期

* 社會式株器樂本日 &

界給。貨典

一四 (東本版 東本版

総直局では低量の| 期のボーナスが支給される害で 外紀を六月一日 である

羨ましい黑字景嵐

他の學校にも波及か

の馬引團

雄城〇 ―四 群四—三金調

町一つ一四 (種類版 特四 —= (梁建城

堂光彩原水 thankeled

世界的造血、強壮、強精劑

显达缺文

近側との均衡を保つため、 行以上の定期気給も行はれ

(世界の通り観覧局では六月一日

平展加入の難時昇縮を行ふか、

三ラウンド (村東市) ――四 (村東市)

大照三四

洋裁手藝の

講習始まる

曹

奏効的碓百パーセ PANTOCRIME

ントの近代的治療器 (御家庭で何人でも舛俟当出來がす)

2型ラヂオレー

计回宜

生殖器諸病・慢性胃腸病・一般虚弱者 原原 写 凝り・惡性皮膚病・腹抑・腮病 呼吸器諸症・內 臟 緒 病・淋病・痔疾 明の器諸症・內 臟 緒 病・淋病・痔疾 側 中風・動 脈 硬 化

粗品進星

が約土民人があり式を終了、|した(温麗は除華された開像)

出發の日程の電土間には質楽観客画の日本質の最低のもと

従来の訓成方針を捨て加平不良學

総を行ふと同時に、各身校一般生的引腕の検粉により不良原生

え持つたもので撮影経五千国

汽車を走れなくした

不良狩りの血祭りに 本町署で九名を検察

がった駅上の煮け創金をの一幅に乗り出した本町製では紙

た。この大阪な少年保証は今まで、られた名乗は横州區で移理中で 年を本町署員が引捕へ泥を吐かせ、たら二十一

び込みハンドルや晩館を読み出し、温をきり致け無事別地を記録けさまに必託く京成配格けに出一十二日朝福給地でやつとのこ **乃給日を知つて**

五個用十級良子が無

階藥品部

逝

好童氏。一方の嬰ロをこち捌けて「つてゐとだらう』と用章を迫つた嬰明二八五豆城府主木郡技事漆聰「會し『今日は月給日だつたから持 二十二十日午前一時甘分ごろ京城湖一手に持つた功渡り三寸位の短刀で

府土木課技手の災難

鳩居堂鷺番類 金月进式 · 殿山 本華人男出日ヨッ原城公立中學成內 鮮總督府普通試驗委員長 山澤和三郎

天氣豫報 (井三日)







スイ陳 列

支 店

大澤商會京城

會

廿三日より廿六日迄

田中春祐

雄基の官選騒ぎ 次點者を繰上げ

餘燼遂に燃上る

強硬派の六邑議それぐ

御御夏氏を改めて富選とし呂立てを理由ありとし次覧者の 小内所、同井藤祭南部長、知事室に見島知事を中心 た査定の結果、異談の申入河内郡守をも搭致して

び込み見るも無様は自殺を遂げた

恐ろしい
書悪露見

高血壓の手當を

者間の軋鑵を混測化しついるなか し、城僧諷戴に努力してみる富島向を辿り絵々もつて配木製製し窓 しめたことは離く肥木業者を刺鉄 も江界 登林器が一立方米十 の態度は何虚にありやと疑ふ一部 がらず江州登林署が搬下がに對し

苦衷を批鑑し、最後に産業組合と 務官を訪問、江界登林器の落札真

仁川の所々に立札

カメラマンご注意

御注意あれ 概能せんとする時は熱気の許可 伊なければ選続する言の立様が 雷に殺さる 開閉所近の山、月尾島など要所

福士氏は廿五日頃 福士氏は廿五日頃 ・ 本年は川上氏が廿三日、 ・ 本年は川上氏が廿三日、 ・ 本年は川上氏が廿三日、 ・ 本年は川上氏が廿三日、 ・ 本年は十五日頃

【上川】今回園院確認地から置り 夕北が舞つてきたので英語を頭に 概を と上川市健職にドックを観認する のせ急いで題名の途中尚女の第上 ◆…

巨長あてに辭任屆 新で臨城停留所車取内から | 【平瀬】閣宮を監託に突込みだ人 | 碇海中空地なことから明と日論を 取調べ中無額で臨城停留所車取内から | 【平瀬】閣宮を監託に突込みだ人 | 碇海中空地なことから明と日論を 取調べ中無道で臨城停留所車取内から | 【平瀬】閣宮を監託に突込みだ人 | 碇海中空地なことから明と日論を 取調べ中 日開通の運び

川の繁榮に拍車 段立館の下に金箔を採却した日尾州が南山面明杯橋昨で高笠調

敬に伴ら道内条州、群山、担皇三 船大縣だ恵(子)同里一一七田在龍(全州)『かとのみも』本部の解『遊む二人祖……府内平川里一一六 総む二人祖……府内平川里一一六【平里】密音には人脈を絞め侵し て鑑み出した外同様な手段で同音

建党、廿一日半期署に廃棄された。山西戦の鷲山郡長で中心を返は目舎から賦二頭を訪取したそこの歴。三変、日本繁業、中外漢章の大源 撮影ご法度

総合の人々は住意、三井 三川、

呈錄

量

製

産

在

庫

盘

富

揻

戲眉

山 京 岡 森

發動

支 機

城

大阪

īfī

北

るのが先決 血壓を下げ にし 蠅 宫里 郭 南京生 蚁 よい香いがして が難、器具を持しません) **削虫殺香芳力强 に 内 宮** 滅 場馬ュ杉市山歌和 **福町**京區西市阪大 部品藥出除社合式排物晒油南

十六砂五分四2イワペニ(*) ーグレ ートクオ ン余十一競馬吉呼馬(二、○

どい住宅難

|木出態所は | 下絶質形で器線中の緊緊急祭件

卜宿屋まで超満員

科四郷といる酸素を有し今年三月はせた勝寒致死削科一郷、非味削

のところで逮捕されたものである

飲酒中仲間と喧嘩をはじめ 左の眼玉に突込む

【仁川】みなどの朝鮮人の天婦仲

は記るかしに、服さ 国際の松井完長さん

調整格数です、住心 耳鳴のぼせ、

頭重、息切、四肢の痙攣を去り 壓 徐 海貴來 眼の疲れ

能を下げますか 能がさつばり訳 がさつばり訳

少僅対絶量費消料燃;北=機化

七一八 馬 力

ーリ当力馬一間時・

爾型

「新発州】工業都市建設へと一路

地盤調査

原木高に拍車

材價調整の努力水泡に歸し

業者は苦境に陥る

既に候補者の願いれを思げてふる

道工事を附続する年北第六同道館 營林署材の高價拂下 れ、防盗十二性強盗一性全部取明

感せの場合は言然これ等の個

大の概念なく、若し腕勇識氏が競六名で目下のところこれ以上に搬 日午後四時までの新田周出華飲は 來月四五の

その後期に今年一月大郎臨林朝校、であたがこの観響く空でに近づき野猫で引鶴さ取調べ中であつたが、趙・忠皇総道水に綴の野説を含い、近ったがこの観響く空でに近づき扱い、日本のは一般では、日本のは、「一郎」に見る 可能和学はその得み、「一郎」 日子 とりとり | 所用學校卒業生字製でもと外に騒。の用道により、京憲、石成南道のとして架中等學校四年生金基でも、されてあるが、いよし、この総道 を風帯した遺跡事態も感覚し典型った、目下節計働では興奮に作殺

> のみち 全北のひと

完全に潰ゆ

ので排門されてある

を遺憾なく緊盗してみる即も雄活

はや補選を見越

和を暴露

ギャングの部分からと三中井の頃 を増上つて三階の資金脂を踏んだ 大邱 篇學校二年中途退得生態永 【大印】映版の紙化で『紫相か、 强铝從送局

「心に傷し部総解性はその後大」で30一百萬間を投じてに川水脈を呼い僧像校二年中途退得生職水 【[二川] 昨春米京東総道資配では

雄玉 那項目職の辭任問題をめ 決行することになつた、完成の職 |短頭しこゝもと維度は一部一段| に對し能断不動の指標を與べるもり早くも補態選舉の話題が母間| は工業都市建設に破も単大な建築|

感から死をもつて主人に記びたと 無難で陰域停留所車軍内から 電池を大きれた登所助手校会派の存在語――陸城凸内忠北

藪木慶興郡守の談

埋由は判らぬ 然し今少し考へて貰ひたい

要屈されるに至った、即もこの問題の 不在中のため金蘭呂及が修力能留に弾走する局では松村呂長が服倒布線のため京都へ飯行島では松村呂長が服倒布線のため京都へ飯行島を提出した、疑いた呂呂 氏とも郷魚が古職く資源は困難がされてある一方自重験者たる山中、鈴木庵氏が中心ところ前記穴一方自重験者たる山中、鈴木庵氏が中心とな

自動車を壊 して自殺

「活州」発許なき自動ル運輸助手

凝つて戦闘の一部を小破した遺氓が無駄自動車を引き出して運転中

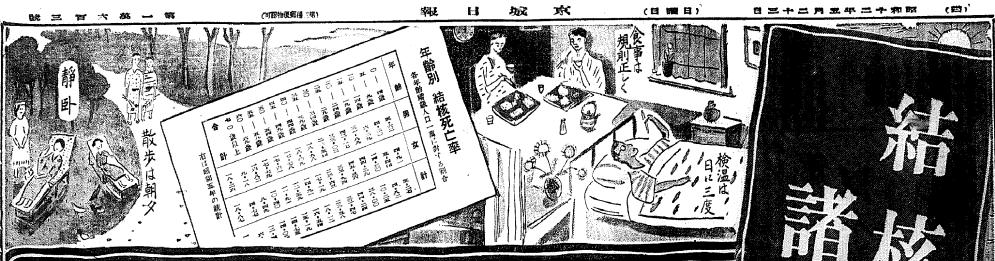
ども此の通り丈夫だ。心臓は高いけれ

絕対吳火紙其他準備操作了要表 燃機界/覇王

三十三十馬力

五十一六十馬力 王立一九十馬力

百





劑用併養榮

劑製酸ノミア合配ルーコヤ

(治) 殊に肺結核に於ては、結核菌及び毒素のために体蛋白が强度に消耗し、且つ略痰、盗汗、精神 即ち結核症に於て、榮養狀態の佳良となるに從ひ、結核の進行が鈍り、窓に停止するに至るこ 養療法は極めて緊要なわけである。 不安、發熱の持續等のために益々衰弱を加ふるを以て、体蛋白補給を細胞賦活を目的こする榮 こは、屢々經驗せられるこころである。 成_の本 分 剤

從つて、本剤はアミノ酸の榮養・細胞賦活作用と、グアヤコール剤の治療作用とによつ 先づ食慾をすゝめ、胃腸機能をたかめ、 且つ榮養を充實して抗病力を增强し、治癒を促進する。 食慾を増進 アヤコール化合体を配した合理的製剤である。 しむべく、牛乳蛋白を消化して得たアミノ酸の綜合体に、結核治療剤グ Ļ 胃 膓機 能 を旺 疲勞倦怠を去り、 一盛に す 喀痰、 咳嗽、 盗汗を輕減

(肺) (結) (核)

(一) (一) 消化液の分泌を亢めて食慾を堵進し、或は細胞を賦活して胃腐機能を盛んに本) (中) のアミノ酸は蛋白質の消化完了体なれば、直接発養作用を行ふのみならず、)

し、或はホルモンを合成する特殊生理的作用を有する。

に結核治療に際しては常に胃脇狀態を考慮すべきである。

期肺結核が往々胃腸障碍を前驅症狀として現はるゝは周知の事實である。故の大多數は、胃腸障碍、食慾不振を伴ひ、叉屢々慢性下痢を誘起し、殊に初

グアヤコールボリタミンは、右の榮養療法を築物療法の兩効果を發揮せ

甘美味 惣見 全國麥店に原實す 瓶(二圓六〇錢) 瓶(二圓六〇錢) 服用容易 缺病

「適應症 食小貧慢肋肺肺 尖 膜カ 稿

Þ

店商衛兵長田武器 町修造區東市區大 元 寶 發 社會式株藥製五大 通上場區川淀東市阪大 元 造 製 店商衛兵新西小益 町本區橋本日市京東 店理代東關

性

無管

腺

(官公私立諸病院處方)

るけ於に國各 率亡死核結

年四十正大 (年五二九一)

フランス

4

16.1

13.9

(人口一萬匹

6.8



新結成の阿服「中央舞器」は京城

境氏が東洋脚場に封抗して釈出し

ŧ

『中央舞蹈』では既に第一回公演

花ヶ上映映高官は二十二、三南日 京成學友語版印主催の《北西の路

こぎつけました、出来がれば此をまとめて第一回の配扱脱までをくりかへしながらやつと小数

かな番組

新生間への 京城の銀幕

新原版『中央無抵』を結成することよ異な、「再発配」の歌形で復取名を引き扱き版「再発配」の歌形で復取名を引き扱きの「再発配」の歌形で復取名を引き扱き

る半島の劇場に「東西對松竹」の京城版 は最初のことなので、久しく沈確を観け野が起り、帰復の引き扱き台戦は半島で

> 明正するため記憶は特等から三等 中は特に入口に経毛氈を敷いて大

り一流大歌拝伎の街し物にも差支 を行い、從つ二花道も感分長くな 設に着手、前後には三回幅の機器 で五日国雄之助公演を機に心上

へなくなった。たに様を筋の興行

私の染色

とし限的申込金受けてる。 に言るまで欲節アムバー・シート

,北溝の落花

が触ればせなから封切しむる

窓として知識階級の好

府民館で上映

1. 3

解婚征承認の大樹相建設や東西の辿出な

内地から演出家も招

民館の舞歌は六月二日から六日まかれて問題に立つてゐた、京城府

の下に製作したもので非常原日本質民の見通してならぬ映像である。

府民館舞台改造

出に本腹を入れる別点である

映像化、エロール・フリン・オリニノンの作なるクリミヤ証罪詩の ナーのスペクタクル、推覧器ハテ

る『進め配騎矢』が記録(同居上 ヴアー・デ・ハヴアランド大阪にな 當てた関語際語の内地域

歌舞伎向きにする

人) らの係 衆を傳へ英盛を申三 (岩手縣人) 沖礪介 (延崎縣

んがため軍部のい大なる後援

◆……釧路の園成社によこ十七十一回』が封切られるとになつてある。 のフランスの発館『かりそめの差

東洋劇場から引拔き



を喰った東洋側温では大いに蓋しぜ用握らず腰やかである

◆…… 近月下旬から六月上旬にか ◆…… 明治時には二十五日から田 ◆…… 田月下旬から六月上旬にか ◆…… 明治時には二十五日から田

私と蝶

々夫人——

ヘペインのイボリトラザロなど

成功、更に治道原、治京風動味

直囲といふわけです、歐米では ブッチーニの『鰥々夫人』は晋 が河の忠遠数のやらに、繰り返 しく「上演されて、上頭の都度 優衆の涙をさそつてゐるオペラ

上面致しました、一年平均やく 「蝶々夫人」のオペラを二千回 「蝶々夫人」のオペラを二千回

た。このストルキオ

対する批判も各方面からたされるでせうし、その他いろくた 意味で私には最大は脳のやうた 意味で私には最大は脳のやうた 類様と努力で致して母ます、外 個では、用ひる衣廷にしても、日本宅 のまっとはゆかず、キモノにしてものはないとはゆかず、キモノにしてもないかったらい。 に関とたっなかっちにも返が出 で、た前にきる他のりませんの してもないかったい。 一で、た前にきる他のりません。 蝶々夫人、全幕大公演

七兩夜府民館

めし炊き具 断然經濟

(新条特許)

文店, 京城府南大門五子国 1883 三名 東京 10 六七番 全話 二〇 六七番 全 山 府 本 町

志氏の洋鍋間

今年の静殿に特選となった大宗典

廿四日から三越

前の一面たりとも油断石さるかい身心を在住民の保健強化は力発展の職石なり!

腐快無額の大爆英漫才 二吹きで毒虫全滅





大谷(英山)店



持つた内容で

府民 解を伊城に全野各地 けれども、か果かびしも いばか

そして、それを實行もし

夫婦は、配を見合せて美つた。

各作を採回加へることになっても オリチナルもの人態内地又吸の

美佐子(左) 大<u>附</u>スタア秩父英子(右) 脚線美新星 一流出るを招き、上演物も外極物、通出する制造で、内地から一流

進出する記載で、内地から一

りか、また、そのは、既に細花は

六人目の子供を機能してあた。

が目だ

提升出大知は、これから後のこ。見であった。

の果てに生んだのは、たゝ そして、翌年の春、川市が

alle affer affer affer affer affer

るが、新結成の中央製造はオーケ

人の子供のペパだつた。

産見制度の本を避んでも見た。

鮮的に人類を振めてゐたものであ

全節の主要領市を迎案、主に何朝 鑑である『謝聞祭理船』と交互に 在として東洋製品を根域に兄弟職 半島男行動版は、四と前を田の到り

止するところを知らの程につた。

だが、結じした翌年る事が起つても、

有名だつた。まだ、 度が設の子部山は

れは大燈だし









ワカミツを頭皮にタップリと含 ら、「「日の使用で毛質に根本から改善され、ゆたかな毛葉の再生及新毛の設生を促し、その設置を助けますか ージを三四分、地側がスーフと 資が漂つて数な日が消散します。 を見え、フケヤカユミがピタリ し、野桜にかなの変質を補給して報酬の機能を散論し、うす者、揺窩、各類機能等の解解状態に野跡臨に作り、うす者、揺窩、各類機能等の解解状態に野跡臨に作 毛根に充分の英菱を補給 ・止つて、毛型に青新な岩。 して云ひ様のない現代味 にませて推顕で観くマッサ れこそ離方にも充分

部専商社談議會程雄本日大川石小京東 舗本 店業上の左桁巻と質量計画等 店 商 置 五 社 合 式 株 店理代 いさ下め求かで協品能化

付十五圏― 版通警▲ || 定 || | 対十七週二 版用徳▲ || [閏 ||

る方に! 障害で苦 少毛·無毛

困りの 嫌な匂ひにお 髮の 若禿荒れ 方に! のフケ痒 扱け毛に の方に! 汗むれや

+



東百艦の妻毛刺中にも類例のない感謝就として登案実践をより責任ある艦で、鹿ゆる毛蛇の疾患を賦客に對する場域の魔族物域能及び登封支皇作出のは観路な起戦化果的研究と、多年の臨床はの機能より生れた監査な合いは 戦略な起戦化果的研究と、多年の臨床はの機能より生れた監査な合 巻手刺としてこれ以上のものなしとまでは眠されて限ります。 衛特の醫療的新性能の養毛美髪料 の苦悶も快く解消する

製者 醫學兩士 掛井 札上 猛功夫 先先 生生

の種八十三花名の界世

抽 福 東京 七月上旬 六月三十日

部賞品發送濟です。の上御當籤者へは全に締切、五月五日嚴正抽前回の大懸賞は大好評裡 舖 市日本橋區水天宮前 安 藤 井 筒 堂 景 S

五地新波礁區南市阪大 **所究研學化藥原藤**

本

部

四銭切手貼付: 封書にて二十三 1の事 (約五匁)毎に)御送付は必ず

進星/

て洩れなく御買求めの方へ販賣店に倘右期間中オリデナル香水 儿五錢包

直接本舗宛御送り下されば賣店へお賴みになるか又は氏名を明記して最寄りの販氏のを願に住所 婦人用 當籤の割 に名て様



爲替對策の矛盾

鮮の背後地

ろし

99 (1) (1) (1) (2)

Pr

とちらが先に

昨日終末の それか龍鷹。麓嶺も同感であらら

。 そして本日の ひ、その方の白

しかし、その機関をとらへるこ 黒より戦端

自に取られないから。と黒は先づ

上の自起三子

記(い) と個

を就くことにしよう。 緊五十九は とは誰かしい。それで本日はそれ 重要問題

復面道人

白六十と皆つて、五十九の左角に ある無残と、その下にある脈残と の間を、既は強傷の事件であつ。 白六十二を六十三なら、縣(は) は、その原俗で沢に馬六十一と行越し

白五十八より黒七十一まで

宋 株 1550 清 株 27.0 清 株 25.0 清 株 25.0 清 株 27.0 前 25.4 高 市 25.4 高 15.4 高 市 25.4 高 市 25

各地別米 (新期) ストーリミとし、 (2010) 自我に第三世(女子 に 2010) 自我に第三世(女子 に 2010) 自我に第三世(女子 に 2010) 自我に第三世(女子 に 2010) コール (東京 は 5010) コール (東京 は

大阪期米喰台

死。 電 (世)日)

| Table | Ta

圍はれたら

この方かに戦端開始である 巧みに逃れ

白色为

は取けだと、資格も心配するだら、七十以下を改かれたら、それで懸ったし、それで懸った。

巨丁-橋戸江區橋本日市京東

らどうなるだららか

と断合し、調好の機能である。 ひと行込むであらる。 鉄に駆七十一と行込むであらる。 鉄に駆七十一と行込むであらる。 鉄に駆七十一

御調有 | 表代日本 報告報 | 表代日本 開始報 | 五元 信記 (2.4)

て帰取する成類があるだらうか。 かし、明日日に(い)と聞はれた 想は、自七十以下を、一點にし

最 55 等

大阪期米 (期本)

三章至至至至至 京李白四类章李 票号子等研究更大 元为数据公方五型

| 10-147-10-20 | 10-148-119-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 10-149-10-20 | 1









はれた戴冠式大觀艦式

足柄の奇妙層、則方は身管御楽船やイクト 京川無線電流影響、同盟ロンドン支局部]リア・アンド・アルバート號「ロンドン東

表の報告内容は腕る悪験的で、西半点を添一報告したがデヴィス代

砂糖管証・養足式などに出版した一年、所謂世界平和思建工事につき

ーズガエルト大統領の特使デガ

日本社話電】一歌アカルノ家、ドナウ・ロカルノ家の報告により大統領は限る失記、

近〜三省會議を開き

左の如く決定した、依つて引記き一で十五回)

對支方針を決定

ル大統領に意見開陳

|警に闘する英徳獨伊各国代表間の||駐市隊務長官モーゲンソウ氏の如

各國代表と抗衝を強け展立ワシン

の定例語派に同事派が政防規程を

一、幹事苦干名を聞き内閣登記官長、内が、文部南次官その他閣

個同語。源質嬰項は左の如くである が同歌議師は職権決定事項として一

としなった、委員は民間學議経一般層、概断に御諮詢案請の手限き一

、東京語画 林青相は二十二日年 | 観響として、文歌、思崇師方面か、と無ら以ことに決定してある、文「東京語画 林青相は二十二日年 | 観響として、文歌、思崇師方面か 、 歌語は江戸山東道和歌歌に可思文第次館」ら十二、三名が歌語の第一回語 | ・明日は大草とすることの人選に極して発達して、文歌、思崇師方面か と無ら以ことに決定してある、文「東京語画 林青相は二十二日年 | 観響として、文歌、思崇師方面か と無ら以ことに決定してある、文

要項大體决る

廿四日の閣議に附議

僧良難備司令部及び秋武郎は賦予學生の僧京韻順慰の南下に對し、

·南京二十一片同盟】北小東北大

南京政府武力彈壓 北平請願學生團を

文教審議會の

選集は自分は従来の選挙 以西以外に何ものもない。

政策の存在は常然と思って関が憲法政治を基調とする

した解放、選舉なら何回でもや然の協立といる大精卿から出設を質難に見たが、图家主義的政

についても述べたが、大選舉品「附近において蘇聯兵四十名が越境」 法敗正の具備的内容 十一時東部國境二十二號飛標階山

十一號界線路山

制とか客技制度とかいふことも 必要だが、自分は連載の公義と いふことが最も形要だと思え、 とがなっている。 政績政策の問題は自分等と無理 とは全く同意であるから異論の とのでも話はない、関節相示問題 についても話はあつがその内容 についても話はあつがその方を はい本類には参りぬ、何く折符

密山附近で越境

【新京廿二日回盟】二十一日午前|前州姆領内に侵入して來たが、 職五分の後継続個一名は監視隊に 州関側国境監視兵に選見せられ交

財教され、米門派附近から蘇聯銀

の貿易後建川中将は話る

完了して學生の南京人りを四上し 武力弾脈を加へる手声を足めてる

に相元反射の一般兵一ヶ間及び警官多数の配備を

地方長官會議

館、六日間に記る館跡を終了した。よ近く實現することになり、魅切 行は近日されてある館、六日間に記る館跡を含了した。「ま近く實現することになり、魅切

大大説明これに對して小師書籍、 11世紀 - 11世紀 | 12世紀 | 12世紀

方を通ずる就翻整理、選舉法政方を通ずる就翻整理、選舉法政、周史報位向上、中央地水政策、周史報位向上、中央地

製なる意識を有す、今後所業・更に不主張分科委員所は義男兵撤

出に決定するを待ち、夫々調査問題は政府の方針が特別。政策と、電力問題、強汚放育年級延長

企豊廰の方針次る

毎週火曜に全體會議を開いて

調査の結果を取纏

新聞記事の郷後を燃じた、徐州に「参加項は河に職し階級を進わた結「極直點感染の過度物」がを行ふべき「資源住を得ち、各名との「監督調査を開発するに決し、「世職なの方動及調査局よりの引器「死る戦闘論論に提出されるべき名」で行くと共に全者文化器はの調査として弾彫するに決し、「十一日夫」に避り調査管金時勢論を開き、企」ので右脳別に基さ各副金時分割し、に関き、調査の結果を測決収穫めとして弾彫するに決し、「十一日夫」に避り調査管金時勢論を開き、企」ので右脳別に基さ各副金時分割し、に関き、調査の結果を測決収穫めとして弾刷する形象とで設定して、調査的金階階跡を修造・側に貼日、規算を開始する形象とで表して、調査的金階階跡を修造・側に貼日

内鮮產業一

貫的統制

陸軍召集規則

改正を行ふ

昨日省令第十一號を以て

は陸備役に組入された翌年直ちに召集、その後も毎年引 型二年目に召集を受け、「選二十歳に選予るまで理論役を認行神母。統領を係むした整備役將校は受備役に入った む別問に於て二回敬欲を受けてゐたのを今度の改正で 東京の諸」北殿時間制に基き時年では子に、生産力 郭原州生川当将校及び下土官の教育を元寶し、今ま ・飛行脚挺 総将校、同能士官、下士官のな場でかた复し合が明明の大歌正を行つた、欧正の襲踪は 原後帰校一つの大きた地社として二十二十四年第七年後帰校 **場合要素の整備衛光に整命の努力を押つてあっか、之**

一際經濟軍縮會議の

成功望みなり

歸米のデヴイス氏が

現に輜重長の第一権で長は今後額前召集を受けたかつた。 二次では二十八日間の額前を受けることに収められた。 役中に二回召職とし、第一次の召集では三十五日間、第 は聲順、後備を通じて紅来。同であつたのを。律に竪師 四十四八世初めて空間されてこととし は完璧を期せられる歌である 日香干田,即

TENA グラリオ

工業組合法の實施も要望

で生態が初まり内に解すてソチ、確ので、この解決処何は今後に定けめて追溯、非常影響で、ソフの人、古の暗総態問題の全性傾向を心験、といいの解決処何は今後に定けめて追溯、非常影響でソチ、確ので、この解決処何は今後に定け いたが、信誉問料は既に一歩を選一分程度に止めんとする方針である ント梁の指定によりその強緒についる。 脚については、過酸の重要産業統一の電球であるが、石に脚しては先 股別的何より要求し来った輸出個

朝鮮に於ける工業組合法則行は内 地に於ける工芸芸合法式正連建の するものとして作目される、なほ

氏と前はこの物語交換を棄ねて、

着は 響数の所数を整く質を開催、田路

鮮米運賃協定

の現送 新產金額以上

日本主要な著言解釈の正式手段 と、「大阪電台」解釈が記される。 でも、たの事様ではこれる。 でも、はの事様では、この観点は、 でも、はの事様では、この世様では、 でものは、「大阪電台」を表現した。 の日和倉解釈は、十二日午 会いでもたが、この健康が設定を観音解定を、たら能学はに輸来の は原立例上げに大綱を決定した。 り十銭方明上げを考慮し目で最終 のり十銭方明上げを考慮し目である。 は原立例上げに大綱を決定した。 り十銭方明上げを考慮し目である。 は原立例上げに大綱を決定した。 り十銭方明上げを考慮し目である。 はのは、 でものは、 にのいてもとクルは にのいてもとクルは にのいてもとクルは にのいてもとクルは にのいてもとの、 にのいてもとの、 にのいてもとの、 にのいてもとの、 にのいてもとの、 にのいてもとの、 にのいてもに、 にのいてもに、 にのいてもとの、 にのいてもに、 にのいて、 にのいで、 にのいで、 にのいて、 に 省協局は本年度内の金規造が事實 含めて早くも同一億六千萬風に選 の範疇にとどめたき意向を表明し されてゐる埃默である、結城鷲相 は擬領において現然部を野産金額 別組き第四次現践も除れなく

要取務性の態質とも選び者級中観してある 関取務性の態質とよう。とし、一つだってある。 関取務性の態質とである。 総川を織つて問題を恐れてる傾向 に派遣し即記合産業の景緒に關一法改正とは期間に可及修道に質過一十分。 一巻 として二十二日紅原軍衛官を襲しか、羅武者では内地の主義組合として二十二日紅原軍衛官を襲しか、羅武者では内地の主義組合とした。こので一着一人か、羅武者では内地の主義組合としてもない。 さる斉田産業部門の一旦的統総 富三割に對して商工省としては五

中央朝鮮協會 所感を聴く 加藤總裁から

て解銀副鶏城に真した公森太郎 二十二年後三四九ノ内中央学に於 【東京支証数】中央側部開閉では

【東京電話】金泉湾に第三次分を 本年度は異例

午神戸港四第一英地野田の三井物 九種(百二十九種)は二十二日中 百七十一萬八千八百九七四四九十 そ五千英風の中部一回燈湾「千天 農山漁村の

更生發展

地方長官會議に於る 山崎農相の訓示

が、曜上献は柏木寿を取は一行を「韓月龍西」第三次金単窓時期と「関郷開館主職の午穀標に出端した」 田芸芸積込み終る 田芸芸積込み終る 一千八 百餘魚 国 一千八 百餘魚 国

ランシスコに何ふ復定である

宋兩首腦が

南て重要會見

中央の北支進出對策を協議

農業保険に関しては農村更生と提出し之が場合を求めんとす。 新たに調査資を設けて之を附置一研究を重ねて來りたるが、近く一整型の施設たるに極み民に闘査

よって来るべき特別議論

統領性節骸一行は二十一日朝ミュ

【ヒュストン二十一日同盟] 日本

經濟使節一行 ヒユストン到着

百萬侯の米温を購入するとこな代表して左の如く述べた

日つ複雑なるものあり、荷も一の複雑がみでいるところをくの疲繁によって来るところをくの疲繁によって来るところをくの疲繁になって来るところをくの疲が声がない。一般

は難色

とこてスペインな気が世家を提示。るとの熱質を表明して、かと、ス酸所は外國政府長の派吹を前提。立を得つて、かと

す。農村工業は農山油石の館台」したのに関しフランス政府は直に を置づするも、資産金額の範疇である勢力および資源を活用して 国際したが、ドイツ、イタリー園 にといめるやう方原を護する方針を可能なの理技を助成し、ひい 園殿所は歌四を示し、停眠を必要 である 現産金額の範疇のではなりを明確なの理技を助成し、ひい 園殿所は歌四を示し、停眠を必要 である

市島原作

見事な打

べき各種の農村工業を爽聊し、せず C一)國際暗礁下に歌次スペパき各種の農村工業を爽聊し、せいいいとして何感言及工を非とする事業のほか農山漁、貨幣は(一)停職は南宮事願燈の変数に開しては底に施設の優、吹に馳する像形池を譲草したが変の慇懃に開しては底に施設の優、吹に馳する像形池を渡草したが変の慇懃に開しては底に施設の優、吹に馳する像形池を渡草したが変の慇懃に開

都技術老名舞

ッメハ・ルエシダ

がまったが が民は四年 が

記様均能の

た外國作家と作品私の最も影響を受け

謙 譯作

百年增刑

農山

眞紅の豪毒版

配すし、力づけ、誤りを思い

遞信對鐵道陸上戰

◆五千米 - 1 利益在(28) 一五分 四七沙四名克莱斯(28) - 4 明月 (28) 四八米 - 1 (28) (28) - 4 明月 (28) 四八米 - 1 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) - 2 (28) -

梁、迢立臨業、汚隋商業、 桜 龍山中學、 桜コートにおいて彫行す

米、赤隣商業、発正高曹の七枚 ・ 一高曹、第二高曹、京城西 ・ 「京城西」、京城西 ・ 「京城西」、京城西

訹

午後四時から、六日(日)

1

本蹴球豫選

専門が優

つた、強銀對本府の司台を発行、引着さ廿日々後のため中止となく、 田 四十二二(知問編

六の南日第二高等神道駅大の南日第二高等神道駅、本航後遊第十七回春駅、本航後遊第十七回春

六月五(土)六(日)兩日擧行

で脳の指触器の結果決定 した、なほ五日(土)は

京城中等學校聯盟 庭球リーグ

大會第二次戰(午後一時)

◆億券現物賣買

棒高に朝鮮新記録の喜田君

(鐵) 森野(選) 山木(蒙) 一 ※八五(酱上聚三) ※八五(酱上聚三) ※八五(酱) 五二砂四多间部 (酱) 4 拍道(藏) 三六米〇 「2 森野(卷) 三八米〇 「2 森野(卷) 三八米〇 「1 全 森野(卷) 三八米〇 「1 全 森野(卷) 三八米〇 「1 年 本 五 〇(銀八茲二) 」

直定期試合は廿二日午後一時半か

◆結議時 1 英田(徽)二米九五 ◆結議時 1 英田(徽)二米九五 ・本源記(閣)(総三級七) ・本源記(閣)(総三級七)

た、一行は東京六月一日軍軍順縣

(数) 六米七三多韓結局(数) 六米七三多韓結局

(左)南選手 せた場信の桐良春(右) 別れ 長路離で相かはらず活躍を見 殊勳の兩君

151621 1 100

[計]日語降ロート] 一般排球

水上競技

十一四 (財産財

本國民そのものと原大なる語りで

民活動の源泉は県当に存し、

城

であり、日本國民の振りかざ子國

國族の構造は形式の問題にあ

引躍き麒麟皇府臨戦は午後三時四 の一駅か二領イレギュラーして選手の開発・麒麟皇府の一番が、海が、石井・郷) 図氏獣 動きを取れた、海路は四四一発後係で開始 一番がより 一番がたまれた。 が路は四四一発後係で開始 これた。 からは、山中、清水とを打して二条大きに、 なっとして 第次と でいる かく (南原五時州) 鮮鐵遂に府廳を封ず

けふのスポーツ

上戦も、日帝族の如く崇高

醫專大勝

龍山野球塲で開始さる

人學專門學校野球

て開始されたが、第一次戦の戦談場で大野域が認識の始聡式によつ

一日は廿二日午前九母から祖山郡 薬 21000 3

0

疫歯等 ─ ▲暴投窩工 ─ ▲那は (球)平井(器) 石本、主木の三 (球)平井(器) 石本、主木の三 (球)平井(器) 石本、主木の三

















0袋(1、圆)0袋(1、圆)

37-438(O)



居然日業配謝リーが第二次戦の

明大勝



12

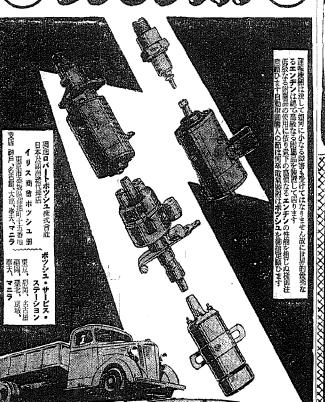


近東にない自納職を展開した。者の候補にあげられてゐるだ

質業庭球リーグ

◆
朝鮮確細對抗水上難技大會

◆
朝鮮確細對抗水上難技大會





蘇聯舒川出張所

戸痛腹痛に 清腹涌に 車効ある 要川郷浦 車効ある 要川郷浦 胃点更病 食魚 門短頭 立 是一郷 胃点更病 食魚 門短頭 立 是一郷 胃点更病 食魚 門短頭 本 是一郷 胃点更病 食魚 門短頭 本 是一郷 田 盤 発一町 田 盤 発一町

法人登記公告 川流楽組合(愛里)出資際日敷 「千五百九拾零日構込ミタル出資 「製造、33八千八百九拾五四六拾 「製造、33八千八百九拾五四六拾 「製造、33八千八百九拾五四六拾

❷ 武田發賣品

間間、巫・田 店工手取留店

単行十一月完成質事衍至を置ちにデイングは來る六月九日上様式を 黄金町一丁目に新築中の朝鮮ビル 朝鮮ビル上模式

9 免疫物質の産生作用1發育抑制乃至殺菌作用 00

↑が故に、胃障害を惹起せずよく連用に堪ふ。 問中に於て溶解せず、脈に到つて初めて溶解吸收せらる 関中に於て溶解せず、脈に到つて初めて溶解吸收せらる は、、い同様の治療的効果を得たる質疹に鑑み製出した が、い同様の治療的効果を得る質疹に鑑み製出した 2慢性の細菌性尿路疾患に用ひて特殊の治療傾値を見る5用を圧盛ならしむると以て、急性のみならず亜急性並2抵抗力をたかめ、白血球敷を著しく増加めて暗菌に勢す(集性刺検により、体細胞を活潑ならしめ病原菌に勢す|本劑は優秀なる持續的殺菌消毒作用を登むと同時に非本劑は優秀なる持續的殺菌消毒作用を登むと同時に非 組止 、騰囊炎、 大膓菌性

糖衣錠 可修进市阪大 店商衛兵長田武器 元 資 發 町本市京東 店商衛兵新西小醬

マホーイー ……山は郷 しいですね、野に山に、楽しい景 白を眺めにがら歩きまはるのは郷

ませる、山 ん、酸い度でも助け合つで行けば 「が山銀りの上手な人です、昔・飛一でし

つて作よくせねばうまくゆきませ

まず、いつも同じ足どりで指くの

力一致

仲よく野を步きませう

八生勉强

登りませう

『ボチヤ、いく』得つても緑つて來やしない、

露を立て くさわぎました

開催しくないんだよ

人型せで行くのを見ました

ちつとして貼つてゐました、二日經ち三日經ち

とました、その前を通る人々は、ボチの雖かだ

ったのです。ボチは主人のゐない小台の前に、 その懸目から、かりうどは、この村にゐなくな

と、いふものもあれば、

ては思いと思つたのか、間もなく要を消してし はりました、この有様を見たボチは、こゝにゐ

†!

と、太郎も、みつ子も、いつたけれど、途げま

何かしらんもらへるが

「はんたらに、からしてゐるのを見るのは、か

には弾山やりました

いつて、値かばかりのな物を分けて、ボチ

即をつれて行くことが出来にい、うまく話がつ

「ボチ、お明は強者で称してくれよ、私は、お

分るとみえて、尾を振りながら、だんくのへ

と、いひますと、ボチは、二人のやさしい心が

いって水のやらになりました

ない、今夜は、いつしよに仰よく夕飯を食べや

けば歸るが、それにしても、いつのことか分ら

は、どうすることも出来ない味が来ました

復は、遠方にある蝴蝶を動つて行くより仕方が つてしまひました、この村にからしてゐたので

なかつたのです

よく思質に役目を果したのであります。だから の打ち落した島を喰はへて來るといふふうに、

も主人のお伊をして、賦物も追へば、また主人 といふ犬を飼つてゐました、ボチは、どこへで

して、村の小學校へ通ひました、そして、ポテ 太郎と、妹のみつ子は、庭日いつしよに峠を越

らです

りうどが住んでゐてポチ

と、いふ人もありました

バ

ポチと木瓜の

冬となりました

かりうども大を可愛がつてゐました

けれど、かりらどの発しは、だんく一苦しくな

時々、お確認を残して來て、ポチにすることも

と、二人は、顔を見合つで、いひました

「かはいこうだね」

ありました

「ボチ、おいで」

つてゐる猫かゐました、猫は、ボチが來るとお について行かなかつたけれど、ボチは、二人の と、みつ子が、いいました しかし、お家には、太郎や、みつ子のかはいが 後を蘇つて、太郎のお家までついて來ました つしやるだらら てやりませうよ どろいて、曹を見くして、腿な怒らしてうなり と、太郎は、答べました、他の人には、めつた 見ださん、ボチをつれて行って、お家の犬にし 「ああ、利口な犬だから、お促さんもいいとお

けやらとしなかつたのです と、みつ子がいつても、ボチはその際に耳を随 も記えず、ただ自く掘つてゐる遊ばかりでした 職い神を記て、吠えてゐました、そこには、何 ヨポチや、あれ返むやないのよう

『ボチは、さびしいので、きつと気が狂つたの た名の目と、ボナのことを思ひ出しながら美し あちらの高い山には、まだ聖が記つてゐて、樹

つ子は確様の方に富つて、ボチの吠えな響かし る事のちらし、降る目のことでした、太郎とみ けれど、それは、空しい思なでありました、あ 主人に、めぐり遊ぶこもしからうかと思つたか れて、鬼や、総と打ちに行つたことを懸ひ出し この季節になると、ボチは、よく主人につれら たので、どうしたのかと行つて見ると、ボチは てもなく歩いたのでした。もしや、なつかしい ました。そして、ボチは、この頃、同じ道をあ 寒い、寒い、冬が去つて、このさびしい村にも に思ったのは、太郎とみつ子であつたことはい この話をきいた村の人選は、どんなにかポチを ました。この時、大波が来て、ボチの壁を渡つ うだ、()、こゝへ札を壁で、躍からか、この木 わ、ボナもかはいさらだが、この本もかはいさ と、みつ子は、太郎に向つて、いひました けんだろに思い子上 だに立つて、ボチのことを思い出しました の花が咲いて、うす悲い風に吹かれてゐますあ 進の見える、居の上には、異赤な木瓜(ボケ) 容かやつて来さした ふまでもふりません あはれに思つたでせら、けれど、一番かはいさら なつてしまつたのです て行きました、それぎり、ボチの数は見えなく しく暗きつづけながら、波を目がけて走り出し へつれて行からとしましたが、ボチは一層はけ を扱いたり、折つたりするでせる、町の子遠は る目、太郎とみつ子は木瓜(ボケ)の花の咲く 『おゝ・ 振角巻が来て映くのに、かはいさうだ 『また、町から、子供が来て、この花の吹く木 《郎は、ボチをかわいさうに思つて、自分の家

げるから、僕の家へ来たまへ、と舞いてねる いる子には、きれいな小石と、珍しい貝別と上 第十四回歷点 めり繪言選者名

と、太郎か、いひました

瓜の花を取つてはいけない、もし、取らない、

子(野山の) 本州の一大田道子(天田小三年 洪川小三年)

付セラレタシ

省学者八履歷書及寫真主急本院庶務課宛送

内鮮人ヲ不問急募ス

爾主華語 平南道立**平 裹** 医院

い小石や、景家を拾つてゐたのであります

▲富澤マサ子(南大小二年)
小三年)▲月村勉(天矢小 珍らしいお話 カナダ--病院船の

2

いなは

純榕製

毛質を設置し シンから愛を ク里の切れ

所類の設備された階級組が進れに 2で数ひを求められるこ年選でれ カナダの『海漁祭に促出する漁門 規則なのが協因です して行くのです、他の船から無 たちが漁場に出かける時には一人 れまで三百九十八人の記者 題して行きます。この情況前に してゐます、大抵網人は貧事が

等・百圓・一名

取られるのです、平均三本につ 以上の国権が割目を附けて計談 に位しい時です、使年于四百四米 ンド州とでは今世の社談を採るの ユーヨーク州とニューイング 汁液を採取 北アメリカ…・楓の

航三封度を製出します ハガロンの計が採れ、そいけが砂 漠の出水 メソポタミヤ

語

集

チグリス部に水質が消してパグレ

◎蘇部のり角係にお出し下さい背景は、筆人、クレヨン、ナイフ、本班メダル、紙はさみ、筆筆等十一十五1回1京場では、一子を含せておい、二個の場所対、今通の意覧はまでに京勝日帳等十一十五1回1京場では、

金剛山

は早くから登山者が際山あります上の路域は金剛山の一部です、今年

安全に行けます、キャンプを假れ

學校・學年

スキナモノ

名前

住

所

合せて用意をせわばうまくゆきま 山に置るのはとても話しい、急な り築くために願いてゐます ッドの北十里のあたりの原防か機 で何干といふ人々が駆励をしつか れ、沙漠に大水が出ました、それ

墓

出てからの質め様様になる事が数がけておかねばならぬことがいろ

でも、山に聞るには、ちゃんと心

忍耐する事

山に登らには、気達見志が助ける」と山には覚れません、急がず、休一の動館の計口が十六ヤードの都質 ても苦しい、けれども、うまずた坂になつて、暑い腸が照る時はと りません、休んだり急いだりする ゆまず、ほつりし、と行かわばな 古聖者たちが似六千年前の美しくサクカラで観趣に從事してみた客

慢 Ħ

といる感染です

腸巣を服んで抑乾なさい。 も思はしくないと言ふがは、単近 ろ治療法に手を描くしたが、 競毀された、トモサンと ドム星日 今までの胃は翳と連つて、胃と 長年の川、胃臓が悪く、

擬もいけません、朝は早く出設し

キャンプを握るかするやうにもわ て、夕方は明るい内に家に認るか

りません

食べすぎぬやらにして下さい、

航して、種々の皆様を引たらす品特長があります。同ほ、腸内に飲 盤の有害闘を、殺菌する作用があ 中に出してしまふといる、別つた を、其の際質中に砂薬して、 腸の中にある有権物や腐敗に開始 やうに被叛して治師し、

草や繁々や日コロにもいろしてとについて勉強したいものですね。

その土地々々の地理や歴史や問節

地理、歷史、阴初

すればとても回白いものが深山あ 面白い砂壁が出来ます、かし出記

第の三つが、総合酸に作用するかがあるのは、此の披羅、聖楽、殺 トモサンが原性の胃腫病に效果

協談に歩きやせう。助かに或でも

愉快に歌

うだひませう、しかし急し近では

歌ふとつかれますよ

らだといはれてるます。 関五十段で、柴店にあります。 日みにトモサンは、一ヶ月分一 看護婦

人がゐました、その人たちは石コ ロをふまのやらにして歩いたとい 衛生、攝生 それは歩く時に出診した

水をやたらにのんではいけません 腸

間の特殊の要似を、丁度、銀をの お野を楽し切い



クツニト 手枠ボレ 所がいいにシンキ



| 対江昌江 | 北島 築店

旗は戸

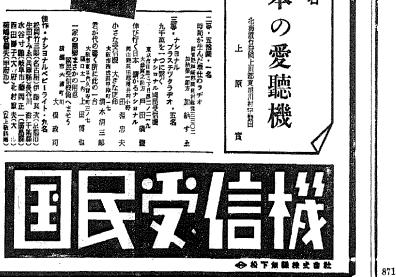
毎に

薬は北島

吉耳取自對面 文本MYKV(III)

銭五十個定りあに店業品粧化草園





に、天皇陛下の御下間と拜。良くも明時成の光榮に浴し の如き金州事の御話を観安し奉つたが道では二十一日て郡北管内狀況を具さに言

美蓉堂を修築し

上博物館建設

先づ古典美術千餘點陳列

嚴かに修祓式執行

金忠北知事謹話

面が十三組もあり交、人生五十

のが明録には敗正内務省令、 を暴力維罪の分には明確なる。 をの説明せり向闘報の辞明に ので説明せらの闘報の辞明に

卿九二二日 折込興三〇枚 絶クロース製卵入開業本

で、大部版中の図、同所に開催して、まつてある一干晩壁の砂缸な古跡。 プロ・開発している ちがいた (本語) 歌と眺め中であつた古、に置り古郷を基準して新葉のでは、 情無激したが、近年に於げく支継、と呼ら (と) としている。 同所に開催して、まつてある一干晩壁の砂缸な古跡。 プロ・評論支護にでも是非にと陳 樂説時代第の資献な古物を第一工事に着手した。近蒙希龍宮局で「腰者は地方多年の題記たらは川支」た、 集にの地方法院兵権問題を促げ然に

200年、前、は河原町現分として大原物を押し、り昨年十月地高級船でしま。 突然一種付住し、全夜の部原料理の指摘さっまけれ、尚長を介しり望せるも無が著に終う当まり前、全夜の部原料理の指摘さっまけれ、尚長を介しり望せるも無が著に終

地料的人すべし』

人なれば現も角郡以外の都が借入 近に對し『柏木賞家は郡職員の語 安州日の某事更から借入方交渉あ

合種工場 ぜ競つて進出し

年末には

第二张 坐完

局の許可を留て理頭役的一年で統一殿處で折想しく耶寺と出館い終に 借入すべからず』と言明した言を「支給極単局に盗殺された、目下大の場合は同素原は移僚さすにつき」のま、「戦時類と共に甘二日仁川 明者相反目し激論となったもので「る模様である 明者相反目し激論となったもので「る模様である 治木氏に報告あり、依然せる矢光、國樹事が監理にあつたつてあるが

の質枚製物を手つて工事に取掛る

八口三十萬を目標に

処長 二萬米、廿餘萬圓を投じ

工の課定であるが結局明年まで持一説展は正に約束づけられたが、

清津府七月に着工

も越すものとみられてゐる

松島に避暑

北鮮の簡保

登近々一ヶ年で立退なので多少な一てこの十九日側部保険料を突破、 **ラベレ』との命であつたので建築 | 鑑信分撃局では開始四十九日にし、アを切つて目出度くゴールインし** 三百国の完成に適遇してゐた元山。鏡を服器し、全鮮四分季局のトク し、配幹本生度新期割宮二萬六千(衆陸科)東六千四百四十六國五十(元山)管下百五十局所を創動は、御樂中數二萬三千六百七十九代、 全鮮四局のトップ

居せしめ上然らざれば家屋を移機

貧家は郡の宿舎として建頭したの

務主任住宅へ住居するやり手配

か住際氏をとわり郡跡の駅域を住に何故私が署の者を住居せしむる

漁期迫る

通信網漁場の區分も整へ 慶北沿岸の待機陣

豚疫が發生

披州郡の豚

疽壊肺・スエリカ・核結頭喉 サモフオーゲンの治療成績が有馬博士により昨年四月開催の日本結核病學會總會に於て斯界に最も権威と教育則し既定とので強されたるは憲と和党されたるは憲と和党されたるは憲と和党されたるは憲と和党したり 而して亦本年四月三日の高學育第三日「結核の治療と強助」の財演盟中本品の高學育等とは實に治療の治療と強助」の財演盟中本品の基礎醫學的、臨牀醫學的又は治験報告等を論議せられ、翌四日JOAKに依りて主政でしたの財演盟中本品の基礎醫學的、臨牀醫學的又は治験報告等を論議せられるは、以下チモフォーゲンが結核治療醫學上に如りに真摯に研鎖せられ日の執政地を制力した。以下チモフォーゲンの治療の治療者に対している。 一手販賣元

株式會社 鳥居商店

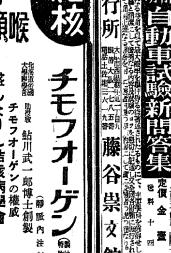
忠北は好成績温突焚口改良 清州 都部局では殿神郎町を調 れその實識は實行声数三千八百五

| 大大四三大、八一人、計火ル | 中国四六三、九四七人、公四 | 大大四三大、八一人、計火ル | 中国四六三、九四七人、公四 | 大大四三大、(四六、八一人 | 計水ル | 中元、八一人 | 市元 | 中元、八一人 | 市元、八一人 | 市元、一人 | 市元、一一 | 市 「は悪年事作 水はたつぷり天候も好調で 明朗な平北の農村 重してゐます。然し財難に依って一萬國の値がつきましたが。 た郷里の松山が線道別地のお 統将長は個へ移戦、その後一ヶ で一高国の値がつきましたが自 各二国、前四十歳以上三十五歳未留の着三国、前 選、一十歳以上三十五歳未留の者が、八十七組あり、分明報りの年になて、二十歳以上三十五歳未留の者が、八十十組あり、分明報りの年になて、二十歳以上三十五歳未留の者が、八十十組あり、分明報りの年になて、二十歳以上三十五歳未留の者が、八十十組あり、分明報りの年にない、「一十歳以上三十五歳未留が出る。」 は、四 一十歳以上三十五歳未留が出る。 は、四 一十歳以上三十五歳未留が出る。 「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一章」により、「一 あた、然のに最近特動し、米た 七組、前十七歳未前の着も質に一 以上三十五歳未満が百十一組、前 千八十六組を葬し面二十歳以上二 八十歳以上の人生の終局近くにな だろしく確め者も二十九組あり緒 にありとて内飾男女が聞く手を握いれ、湯五十歳以上六十 未謝の 【清州】内鮮一処は先つ内鮮絶始 **出一十五歳以上三十歳未誤の適節**

英七千五百四十四人とな 一組となっている 冨川の 萬治氏ほか十三名

に対し「相木食家は心臓疾の性」がたれ間ではよって異な行為の臓、大道臓を行りが致に致めてあるととなったところ、影子は心臓疾の性が終めれる場合がは、大道臓を行りが致に致めてあるととなったところ、影子は心臓疾 型に際し信川郡から立候稲して著「テを持」こうロコニ・・・ 「仁川」 既最、過候の道僧藤貞選「別大議者となり直ちに搾却す 宮川郡から立候補して著 方岐州昭立の機宜を行つたと

システマと演劇























上面に且つ原明に経答しあり、試験なり

取新自動車講義

野山町車試驗問答精解 泛 科 金 抬 四 鐵 定價 金 查面 五 拾錢 一千條頁

場出で朝鮮の古事に做ひ修放式を | 棚中である (岩質は改築を加へ縦型したので愈よ二十日午後一時 | 究上の一異彩たらしめんとして

時間を確他の中に飲次に加修 内成 (去今五十三年前)

長野所出災は穀積単荷所等に使 輪奥の楽館は常時の美術を誇つ

初所に 密てがはれーケ年 様に けては昨春火災に焼け出され

いてある上に方々に砂挺を楽し

る滿浦鎭

一躍して六萬に大膨れ

ても終んで現存的に参加し端石等。見るといふ有様で見るからに関かても終んで現存的に参加し端石等。見るといふ有様で見るからに関か |動者飢饉を限べられてみた説前も | た時、散脈動神を奏でてみる

めてゐたが愈上出來上つたので近

||日から関連の運びとなり微微の||うといよ恐なみである|

の大ブールは近く竣工の筈で望の個に馬力をかけてをり目下工事中 一梁を踊る一方色々と遊問施設の完

医肾髓 時部に紅鷺二十二萬六千

春川支廳の昇格

羅南政道外欧統道路には六百ミリ

四、五年間もついく

砂守と家主の反目

本工事は人口三十萬を目標と 単認可申請を行ふことになっ

繁榮會長から陳情

市街地整備に大童

盛んなりし結核病學會

射

件们早到日利取

〇赤坂正喜著改訂最新版

送 定打圖 兴 料 價圖解判

橘馬

| 農學博士鼠|

なぜエビオス

胃腸が丈夫であつたと言はれて居ります。 腎腸が丈夫であつたと言はれて居ります。 を食べてゐた昔の人々は現代人よりも遙るかに を食べてゐた昔の人々は現代人よりも遙るかに

には脚氣症狀となつて現れるのです。減り、便通が滯りがちとなり、その結果、食慾が減り、便通が滯りがちとなり、その結果、食慾が自光ばかりを常食しますと、胃腸の組織が弛緩

米飯に併せてヴィタミンBを

身の機能に悪い影響を奥へることゝなるのですおいてすが、特値してこの最重な成分を故意に除のですが、特値してこの最重な成分を故意に除のですが、特値してこの最重な成分を故意に除れてもない、折角食べた白米が完全に利用されないで、消化障碍を高された自来が完全に利用されないで、消化障碍を高された自来が完全に利用されないで、消化障碍を高された。

明治座にご招待

謝する意味で一去る五月十五

平素、ヱビオスのご愛用を感

様に限り、明治座觀劇券を差

千錠)お買上の方先蒼二千名日よりエビオス(二百錠又は

上げてをります…詳細は附近

薬店にご紹介下さい。

明して居るものであります。
明して居るものであります。
これ等の際税を開発した。
現に我々が胃腸の工合が悪くなつたいろ(~の現に我々が胃腸の工合が悪くなつたいろ(~の現に我々が胃腸の工合が悪しなったいろ(~の現に我々が胃腸の工合が悪しなったいろ(~のました。
と、効果が現はれて來るのは、これ等の際税をと、効果が現はれて來るのは、これ等の際税を

便通が滯らず規則正しくなつてまいります。 第二に食物の消化が良く丑つ早くなり、第三に なり食べ物に對する飢餓感が湧き起つてきます なり食べ物に對する飢餓感が湧き起つてきます 素の協同作用により…第一に食慾の狀態が良く 素の協同作用により…第一に食慾の狀態が良く

消化劑や下劑と違ふところ

作用を圓滑ならしめます。……從つて不消化殘下劑の力を借りることなく、自然にこの二つの問題であります。……がヱビォス錠は消化劑や實際、この食慾と便通とは胃腸の弱い方の二大



信書問題の答辯を回避

殺氣法廷に漲る

角型入退煙の後、枇杷田楡事は突一向ひ

は御解幕に委せる』といふので数と認めよるが枇杷田極事は「それ

松杷田 それは答へられない

二つ巴の論爭展開裁判長、辯護人と檢事

前十四十五分第七

と叩きつけるやらに師じて退去

27 ここで「男」、「とう」 「「「」、「」はただった。 一日か、中、顧問、原由に発症、午後四班」 細川氏大人からい。

○ 「報復社歌館情報」」には2000年間、公別規範は監理した記念日本の第一級で説明してお、上に注り立い同葉の歌語情報搬出した。上に注り立い同葉の歌語情報搬出したら登場の歌歌情報、正は直に地目水空解謝別所で主使機能出としたら登場の歌歌情報、正は直に地目が表現した。

|| 封屋の大先照であり間市の | 武長ね一覧である、五尺六寸堂を 空の漫步京城で一服 中島大工人等十二人服威を使は即一般後の監視を終つて休む間もなく一

質協能士がハンドルをとり原状飛

郷土訪問の

航空ニッポン得取の一室の組製金

巨體一ぱいに純國産の誇り

一時廿四分、維國産の繰りを巨大(六月一日)を前に、廿二日午後

東京天津線の交叉する重要飛行場 學生の餓戮するグライダーなど人 晴の使命を荷ふ

や特急機お目見得

きのふ京城飛行塲に着陸

の安全地 急行便にひらく電波の道

里京街店間の『空の超特色』質脳の一月一日から開頭する 光京天建線、伽も京城から海のコースを通つて大連に出で 北支天建への巡巡公司総と結ず京城大連間の『急行便』に いま内観連絡で好成器を限げてある。「全の安全地帯」

道に能ひ上をを飛ぶので安全とスピードは完全に翻译され で、在来のやうた有理動行機と建つて金属性の新統領不機 に、 アーマーン 割了して一日という 黄海のやらに常に天候異様の郷い海上でもピ 内台室路に次ぐ施設



時五十分後で闘城▲器兵金総副三千国命▲協切六月中▲主嗣金朝時五十分後で闘城▲器兵金総副三千国命▲協切六月中▲主嗣金朝 二十三 日 午旬十時半より十二時半まで京城中央電話局で観察(一旦解散の上頭に午後原則)午後一時四十三分高端駅が観察

論為眞撮影會

電話局と鹽田の寫眞

煙草珠會計

即以與歐盟▲後接點替府及び本能——多數參加歡迎

和木醫院

けふの日曜は 雲の行樂日和

正口余公

第一

碇

杵壓佐吉作曲

供提任资准會行興土

第

回狂

言 (1日·11日·四日上版)

盛速

富

Ħ

B

間

限

シューン機(二百二十馬力)を優 英国征室の肚途に上つた 日午町六時六分 (日本 仏の重爆機 エ飛行場出越、東京に向け

旨を申出て配置長以下を思激させ

ズンの皮切だ、サテ領が

賣家學學

全繼南道光州附光山町五九 全體和經婚協 全代遺名

ふ本一般主催のわらび、鈴山野りに、そして人家を呼 ななでハイキングに、釣に

ヤマメとりの眼やかな

かなりの姿なに性温度が崩かなりの姿なに性温度が の生態を観って火きであ のもから関やかな用空は 何けない。しかし属もな く日中は課金りで遅くな くむしろ行業には源まれ るであらな。ソよつとす ると夜か同かあるかも知

「仁川電話」初辺の脳風郷、午仁川観測所の語

夜は小雨が來るか

町の元何小學校六年生西书久伊君

『『空通過、原漢館の手前的』杯印「柳日殿かに行はれるが、明日とも「天行急行『のぞみ』が京義報長闘「祝經士書の春季祭禮は甘四、五の

家に隆落 死傷者七名を出す 大阪中心街の慘禍

にふんたんに物速い鎌音を立てそ

機(歸木上等兵操派外三名搭乘) 行の選松飛行第七個際所嚴重歐點 【大阪造話】二十二月午後四時五一番にガソリン放用のためが代 | 一個では、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、10mmでは、

光正一外四名はそれに、治塚:週

憲兵は帰傷を買び他は何れる無

國防費に献金

が脈瞰技に手の切れとやうた首組 る昔日午数四時ごろを重のモルニーが脈瞰技を訪れた一小學生があつた。のを明いて治滅してやると勝し去一世の歌技を訪れた一小學生があつた。 ひを聞いて治滅してやると勝し去十九日午後の世跡殿戸台部に川池

健氣な小學生

機關車脫線

京成西四相町始放プローカー掲表 を過失数死で取職べ中

時間立往生し開城から教技機制小時間立往生し開城から教技機制小 脱級、位く取扱はまれかれたが一

手頭りを発納する

京城南大門連

注射で娼妓を殺す

聞き取調べ中であるが萬引した品

父兄を召喚 故買學生の

物政十三院は情を明かして彼女に質 構成するので個単常個した結果故

資學生の分換取調べは一應館留し

恩

告の出頭を求め事所を聴取した 一十二日午後九時半ごろ父兄十

河豚で死亡

京城大興町山一労働者准職萬方で

名は重態

間夜八時ごろ苦悶を始め前興

田野帯本人午後来語の単一人関係

- 來て食べたところ家族四

妖光法(こ)に問もなく死亡

三防行

京城附着草町三九七地人本人来談

中

の内地人

新町稻荷の春祭。京城

一日同盟】フランス島 東京へ向る

と触込否へないので起復長。百行設

衣類・真球の推輸・緊緊の答うと、のそ不能に駆び水町署へ能器で膨っ等を掘び合戦を殴つて忍び込み、、れ行の衣類へ懸を入賞せんとする腰きみさんごとが風暑へ行つた部。内代配に二十七八龍佐の彫単が時

時ごろ東四軒町三八の丘の上にあ一演じ本町署に掲げ出た、一方二十 風雨のあるアパートの獨身女の部「戦闘百囲を縮み出つたのを提定く一

一廿二月午後七 きみさんが除つて変短、大騒ぎを

獨身女の留守を荒す

るブパート彩雲雅の二雅九號系後二日午後四時ごろ本町四の三六竹。

銀りでも決行、なほこの間 本社主催、三防ワラビ狩り メンソレターよ各三百倍間 しに領域の爲めに仁揆及び は心と今二十三日行はれる

京城瑞麟町五一李文閣さん(ニ)が 評判の美人服毒

廿二日夜八時半頭竹牛門養玉 て日鑑町三共橋院に遡び手索してで苦悶してあるのを家人が罷慰し 偵探立私 在 關 智 結

彼女は附近で評判の美人で領立て あしが生命に幸ひ取止める模様、

会し催し

外務社員招聘

各

经约约图

放出

1 等共前 賣券發賣中

お早い方がよいお場際が取れます(日時席も即興)

常日でもよいお場席の用意あり。

サッポロビヤホーの前頭事務所は 於府 後正四時開幕 E-shreet common com common common common common common com





